

「珈琲とエンピツ」上映実行委

# 聾学校生に映画招待券

生徒に招待券をプレゼントした末永代表(中央)



映画「珈琲とエンピツ」

福島上映実行委員会の末永哲也代表は10日、福島市の県立聾学校福島分校を訪れ、在校生と父兄、教員全員に56枚の招待券を贈った。

同作品は、静岡県湖西市でサーフショップを経営する聴力障害者の太田辰郎さんが主人公。太田さんが店を経営する夢を実現するために、客にコーヒーをサーブし、紙と鉛筆による筆談やジェスチャーでコミュニケーションを取り、聴覚障害者と健常者の言葉の壁

を乗り越える姿を描いたドキュメンタリー映画。

今回の寄贈は、千葉市聴覚障害者協会(坂井和彦会長)が今年2月24日、千葉市で開いた創立50周年大会で集めた募金を基に寄贈した。末永代表は、同大会で東日本大震災の体験を基に講演した。

同校を訪れた末永代表は、生徒と児童代表に招待券を手渡し、「この映画を聴力障害者の不安を取り除くことに役立て、言葉のバリアフリー」についても

考えるきっかけにしてほしい」と語った。

同作品は20日から26日まで、福島市のフォーラム福島で上映される。初日には今村彩子監督と主人公の太田さんの舞台あいさつなどのオープニングイベントが

開かれる。

問い合わせはフォーラム福島(電話024・533・1717)へ。